

10月1日は浄化槽の日

問い合わせ 環境整備課 ☎2154

浄化槽は、家庭のトイレや台所から出る排水をきれいにして、川や海に放流するための設備です。
 浄化槽には、水洗便所の汚水だけを処理する単独処理浄化槽と、水洗便所の汚水と台所の汚水などの生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽があります。単独処理浄化槽は、生活雑排水を未処理で垂れ流しているため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進めることが大きな課題となっています。

浄化槽補助制度

市では公共下水道や集落排水になぐことのできない個人の専用住宅に小型合併処理浄化槽を新たに設置される方に予算の範囲内で補助金を交付する制度を設けています。環境整備課へご相談ください。

浄化槽の人槽区分補助限度額

人槽区分	補助限度額
5人槽	675,000円
6~7人槽	844,000円
8~10人槽	1,219,000円

浄化槽を正しく使いましょう

- 浄化槽の中には、たくさんのお細菌（目で見えないほど小さな生き物）が存在し、この微生物が排水中の汚物を分解して、排水をきれいにします。浄化槽は「生き物」ですので、トイレや台所から排水を流すときに、次のような注意が必要です。
- 浄化槽の電源（送風機）を切らない（長期旅行時）。
- 油や野菜くずは流しに流さず、ゴミといっしょに出す。
- 塩素系洗剤（漂白剤、カビ取り剤など）を使うときは、多量に使用せず、多めの水で洗い流す。塩酸などの薬品（便器洗浄剤など）を使わない。
- トイレに紙おむつや衛生用品、タバコの吸い殻を流さない。
- 灯油、石油類を浄化槽に捨てない（可燃性があり大変危険）。

浄化槽を正しく維持管理しましょう

浄化槽の機能を長持ちさせるためには、使用方法に注意するだけでなく、定期的な維持管理が大切です。浄化槽をお使いの方には、次の3つの維持管理を行っていただく必要があります。

保守点検

いわゆるメンテナンスです。浄化槽が正常に機能しているかの点検、装置の修理、消毒剤の補給などを行います。保守点検の回数は、浄化槽の種類や規模ごとに決まっています。家庭用の浄化槽であれば、3〜4ヶ月に1回以上が一般的です。

清掃

浄化槽を使用していると、その内部に汚泥などがたまりやすくなります。この汚泥などを、バキューム車などにより定期的に抜き取ることで、浄化槽からの汚泥の流出や悪臭の発生などを防止します。清掃の回数は、家庭用の浄化槽であれば、1年に1回以上が一般的です（汚泥がたまりやすい全ぱつ気式は、おむね6カ月に1回行う必要があります）。

清掃には技術上の基準があるので、通常、市で許可された浄化槽清掃業者に委託して実施します。

法定検査

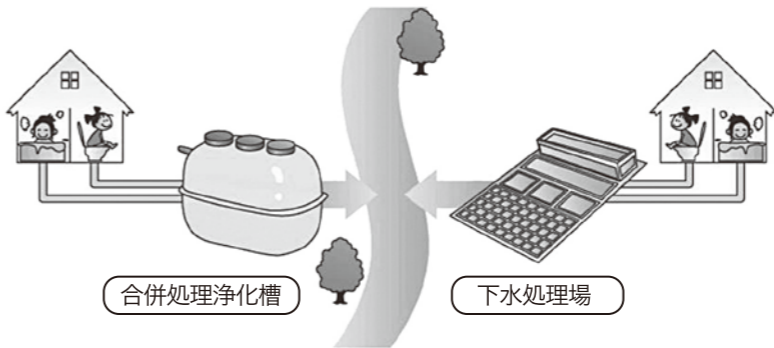
浄化槽が適正に設置（使用）されているか、保守点検および清掃が実施されているか、排水が十分に浄化されているかを確認する検査で、法的義務付けられています。

法定検査は、県が指定した検査機関が実施します。検査には次の2種類があります。

- 設置後などの水質検査（7条検査）
- 毎年1回の定期検査（11条検査）

浄化槽を適正に維持管理し、みんながきれいな水環境を守りましょう。

家庭から出る生活排水の処理



こいこいバス 月間利用者数過去最高を記録

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会 (自治振興課内 ☎2142)

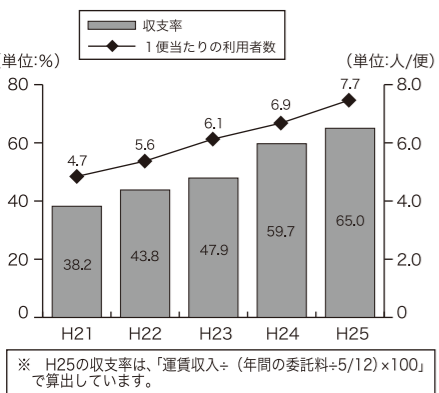
こいこいバスの月間利用者数が7月に初めて8千人を超え、過去最高を記録しました。

年度別 月間利用者ランキング

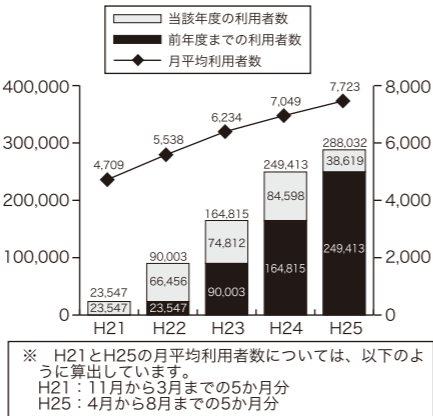
順位	年月	利用者数 (人)	平均 (人)	
			1日当たり	1便当たり
1位	H25年7月	8,199	264.4	7.9
2位	H25年8月	7,808	251.8	7.5
3位	H25年6月	7,762	258.7	7.7
4位	H24年8月	7,681	247.7	7.4
5位	H24年7月	7,510	242.2	7.2

平成25年4月から8月までの月間利用者数は、約7,700人となっており、順調に推移しています。こいこいバスは市の幹線交通として平成21年10月26日から実証運行を開始し、8月末現在の累計利用者数は、約28万8千人となっています。10月には30万人に到達する見込みです。

年度別 収支率、1便当たりの利用者数の推移



年度別 利用者数の推移 (単位:人)



ぼくもわたしも バスエコファミリー

〜土日祝日 小学生無料〜



現在、こいこいバスの利用は順調に推移していますが、平日に比べて休日（土曜日・日曜日・祝日）の利用者が少ない状況です。休日の利用を促進するとともに、モビリティ・マネジメントの一環として、バスに乗るきっかけづくりを推進するため、11月に「バスエコファミリーキャンペーン」を実施します。

「バスエコファミリーキャンペーン」は平成23年度から実施しており、毎年11月に実施しています。この機会に、ぜひご家族でご利用ください。

■キャンペーンの内容は？
 小学生の運賃を無料とします。ただし、大人（有料）が同伴する場合には、小学生のみで利用される場合は、有料（100円）になります。

■キャンペーンの実施日は？

平成25年11月の土曜日・日曜日・祝日に限ります。

「コイ・こいフェスティバル」が開催される11月9日(土)も利用できます。

※ 10月はキャンペーンを実施していませんので、ご注意ください。

■「同伴する大人」とは？

お父さん、お母さんはもちろん、おじいちゃん、おばあちゃん、近所の方。小学生と一緒に利用される方であれば、どなたでも構いません。また、大人運賃となる中学生以上は全て大人とみなします。お兄ちゃん、お姉ちゃんとも「エコファミリー」に参加できます。

なお、大人は有料（200円）となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

■利用のルール

小学生は、バスを降りるとき、元氣よく「エコファミリーです」と言うてください。

こいこいバス運行開始 4周年!

「こいこいバス」は、10月26日に4歳の誕生日を迎えます。これからも、ぜひ、こいこいバスを利用していただき、末永く運行したいと思っています。利用して下さった皆さまをはじめ、関わってくださった方々に感謝いたします。